

2024年7月1日

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

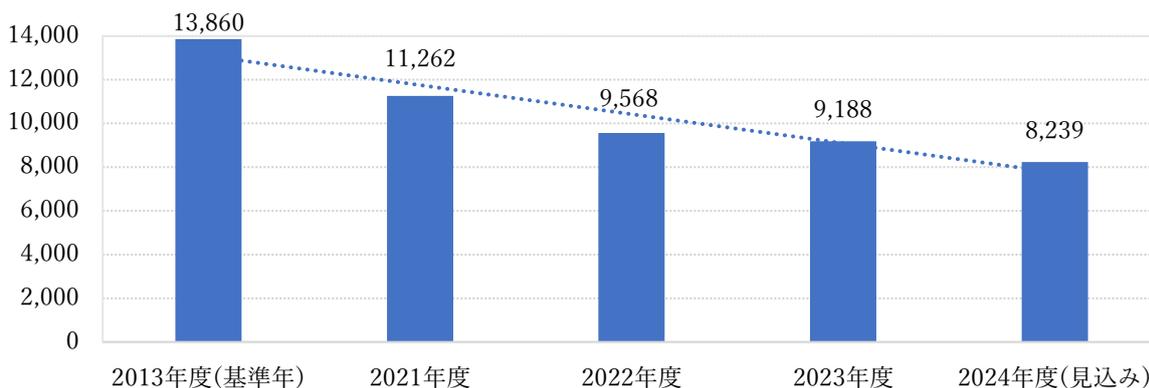
ガリレイグループ本社ビル・滋賀(水口)工場・伊丹事業所で CO₂ 排出量ゼロの電力に切り替え

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役 社長執行役員 福島 豪)は、2024年7月1日よりガリレイグループ本社ビル・滋賀(水口)工場・伊丹事業所の3拠点にて、CO₂ 排出量ゼロの電力に切り替えます。これにより、当社国内工場はすべて電力由来のCO₂ 排出がゼロとなりました。今後は、製品の製造・研究開発活動をCO₂ フリー電力で行っていきます。

記

1.効果・実績

ガリレイグループは、グループ全体で2030年までにCO₂ 排出量50%削減(2013年度比)を目指しています。2024年度は、CO₂ フリー電源への切り替えによって、2013年度比約40%削減となる見込みです。

参考：CO₂ 排出量実績値推移(対象範囲：連結)(単位：t-CO₂)

削減率(%)	2013年度(基準年)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(見込み)
削減率(%)	—	18.7	31.0	33.7	41.0

〈ガリレイグループの気候変動に関する取り組みについて〉

ガリレイグループは、パーパス「食といのちの未来を拓く」の実現に向けて、8つのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。重要課題の中でも事業の継続性への影響度の高さおよびパーパスに掲げる地球の「いのち」を守る観点から、「気候変動対応」を最重要課題として特定し、サステイナブルビジョン「Dramatic Future2050」を掲げ取り組んでいます。

サステイナブルビジョン「Dramatic Future2050」

<https://www.galilei.co.jp/sustainable/>

お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社(担当：経営企画部 経営企画課)

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2-6-18 TEL：06-6477-2011 FAX：06-6477-0755

URL：https://www.galilei.co.jp/